

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		レインボー・キッズ・クラブ		公表日		令和 7 年 2 月 6 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14		活動内容によりパーティションを利用したり部屋を分ける等して過ごしています。	利用人数や活動内容により、より良いスペースの使い方ができるよう今後も創意工夫していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14		適切に職員を配置しております。	子ども達の状況に応じて引き続き適切な職員配置をおこなってまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	1	室内は子ども達が理解しやすいよう、視覚支援をおこなっています。また必要に応じてパーティションを使用し環境調整をしています。	今後も子ども達が理解しやすいよう視覚支援をおこなってまいります。玄関のバリアフリー化については今後の課題として検討させていただきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14		毎日掃除を行い、日中は常に換気をおこなっています。活動に合わせて空間を区切り環境調整することで、わかりやすく心地のよい空間となるよう努めています。	今後も子ども達が過ごしやすい環境となるよう努めて参ります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14		必要な場合は個別の部屋やパーティションで区切られた場所を使用できるようにしています。	今後も必要に応じて個別の部屋を使用できるようにしていきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	14		毎日のミーティング、毎月の会議での話し合い等で、意見交換しています。	今後も継続し業務改善に努めます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14		事業所評価で保護者様の意向を把握できるようにしています。	事業所評価の結果を真摯に受け止め保護者様の意向を把握したうえで業務改善に努めて参ります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14		毎日のミーティング、毎月の会議、日々の業務後の意見交換の他に定期的に面談をおこない職員の意見を把握し業務改善につなげています。	引き続き面談等の機会を設け全ての職員の意見を把握できるよう努めて参ります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		14	現時点では行っておりません。	現在は取り入れておりませんが、今後の課題として検討させていただきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14		職員全員が月に一度事業所で決めた研修を受講する機会を設けている他に、隙間時間を利用し1本3分程度の必要な研修をいつでも自ら選んで視聴できる環境を作っています。	今後も様々な研修を受講し資質向上に努めて参ります。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14		令和7年2月にホームページで公表しました。	ホームページに公表しています。よりわかりやすい内容となるよう必要に応じて改善していきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14		アセスメントを適切におこなったうえで、懇談等で保護者様から聞き取りをおこないニーズや課題を分析したうえで作成しています。	今後も継続しておこなってまいります。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14		職員間で普段の様子を共有理解したうえで児童発達支援計画を作成しています。	今後も継続しておこなってまいります。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14		会議やミーティングで情報共有し、計画に沿った支援をおこなっています。	今後も継続しておこなってまいります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14		標準化されたアセスメントツールと日々の行動観察により確認しています。	今後も継続しておこなってまいります。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14		ガイドラインを踏まえ、必要な支援、項目を設定し保護者様にも理解しやすいように具体的な支援内容になるよう努めています。	今後も継続しておこなってまいります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14		各活動を委員会と称して職員を割り当ておこなっています。	今後も継続しておこなってまいります。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14		固定化しないように、ランダムに活動予定をいれ内容も変更しています。	今後も固定化しないように内容を変更していきます。	

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14		1人1人に合わせた個別活動と集団活動を組み合わせて実施しています。	今後も継続しておこなっていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14		支援開始前に支援内容や役割分担を確認しています。	今後も継続しておこなっていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14		支援終了後に職員間で気づいた点について話し合い情報を共有しています。	勤務により支援終了後に行えない職員は翌日に振り返りを必ずおこなえるようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14		支援経過に記録し次に繋ぐことが出来るように取り組んでいます。	今後も支援経過に記録し、支援検証・改善に努めてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14		事業所内会議で個々のケース会議をひらき、半年に一度のモニタリングを通し、計画書の見直しをおこなっています。	今後も継続しておこなっていきます。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14		児童発達支援管理責任者が参加しています。	今後も継続しておこなっていきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	2	必要時は連携を図り、支援をおこなっています。	今後も継続しておこなっていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14		必要時は支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。	今後も継続しておこなっていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14		必要時は支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。	今後も継続しておこなっていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	13	1	必要機関と連携を図っています。	スーパーバイズや助言を受ける機会を設けていないため今後の課題として検討させていただきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	14		同事業所の企業内保育所のイベント「芋ほり」「消防車救急車見学」等に参加し交流する機会を設けています。	今後も継続しておこなっていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14		提供記録や、電話や送迎時に状況を伝えあい、共通理解をもてるよう努めています。	今後も保護者様とコミュニケーションを図り、共通理解をもって支援をしていきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14		お子様の特性を踏まえたかわり方に関して知れるよう支援の場面の観察等の機会を提供しました。	ペアレント・トレーニングはおこなっていませんので今後の課題として検討させていただきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14		契約時や変更があった時におこなっています。	今後も契約時や変更があった時におこなっていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14		日々の利用時にお子様の、懇談等の機会に保護者様の意向を確認し、児童発達支援計画書を作成しています。	今後も継続しておこなっていきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14		保護者様に説明をおこない同意を得ています。	今後も継続しておこなっていきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14		相談があった場合には適切に対応しています。	今後も継続していきます。まだまだ不十分な事も多いため改善を図れるよう努めて参ります。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	3	今年度は保護者同士で交流することを目的とした行事の開催をすることができませんでした。	保護者同士で交流する機会やきょうだい同士で交流する機会の場を設けることができるよう検討していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14		相談や申し入れがあった場合は、必要に応じ様々な機関と連絡をとり迅速かつ適切に対応しています。	今後も速やかに対応できるようにしてまいります。また、貴重なご意見から良い支援ができるように尽力していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	14		インスタグラムでの発信や専用ソフトウェアのシステムを通して毎月の新聞や活動概要、行事予定等を発信しています。	今後も、活動や行事の情報をインスタグラムや専用のソフトウェアのシステムを通して発信をおこなってまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14		秘密厳守を徹底しています。	今後も個人の情報の取り扱いについては、十分注意していきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14		保護者様に合わせた文字で連絡ノートを記入したり、保護者様に合わせた連絡方法で連絡する等配慮しています。	今後も電話、直接お会いする等、保護者様に合わせたコミュニケーションをおこなってまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	14		年に1回地域住民の方を招待したイベントを開催しております。	今後も継続して、地域の方との交流を図ってまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14		契約時にマニュアルの説明をおこない、年間を通して計画的に発生を想定した訓練を実施しています。	今後も職員に周知徹底し、保護者の方にもより一層マニュアルについて細かく説明していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14		BCPを策定し、必要な備えをおこない必要な訓練をおこなっています。	今後も非常災害に備え備蓄の確認や必要な訓練を定期的実施していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	14		契約時に確認しています。また、服薬は薬の種類をコピーさせていただいています。	今後も契約時に確認し、職員間で共有していきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14		食物アレルギーのあるお子様は一覧表を作成し職員間で共有し除去を徹底しています。	今後も契約時や懇談等で確認し、職員間で共有していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14		年間を通し安全計画を作成し、必要な研修や訓練をおこなっています。	今後も継続しておこなってまいります。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14		契約時、内容に変更があった場合、非常時が予想される場面にご家族との連携が図れるようその都度周知しています。	今後も継続しておこなってまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14		ヒヤリハット表に記入し事業所内会議で話し合い情報共有しています。	今後も継続しておこなってまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14		虐待防止の研修に参加し、月に一度虐待防止のための振り返りをおこなっています。	今後も継続して、虐待防止に努めてまいります。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	7	現在、該当者はいませんが、身体拘束について研修をおこない、職員に周知しています。	今後、必要時は保護者様と十分に話し合い、対応させていただきます。	